

デロイト トーマツ グループ × 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

デロイト トーマツ グループでは、CSR 活動の一環として、次世代の育成という観点から教育支援に注力し、中でも経済教育団体である公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本の理念に共感し、当団体が提供する MESE（ミース：Management Economic Simulation Exercise）や SCP（エスシーピー：Student Company Program）といった様々な経済教育プログラムの実施に協力しています。

MESE という会社経営を通じて意思決定力を育成するシミュレーションプログラムでは、子どもたちがいくつかのチームとなり、仮想の商品を製造・販売する会社を運営しポイントを競います。このプログラムでは、会社経営のノウハウを学ぶことが目的ではなく、一つひとつの意思決定が製造量や販売量に影響を与えながら、経営成績として明確な結果につながることを体験から学び、他人と違う意見を表明する勇気や自分と異なる意見に対する寛容性を育みます。



私たちは、MESE プログラムの講師養成講座を定期的に社内で行い、ジュニア・アチーブメント日本より講師派遣の依頼があった際には積極的にボランティアとして職員を派遣できるようにしています。直近の3年間で講師養成講座の参加者は約100名を数えました。また、職員自らが母校の先生にお声掛けし、MESE 授業の実施に繋げ、ジュニア・アチーブメント日本の経済プログラムの普及にも努めています。結果、この3年間で私たちが実施した MESE プログラムを体験した生徒さんは約800名に及びます。

また、SCP というプログラムでは、子どもたちが学校の中に資本金1万円（100円/株×100株）で株式会社を設立し、商品の開発・生産・販売を行ってその経営成果を16週間後の株主総会で発表します。私たちは、「社外取締役」としてボランティア参加し、子どもたちの会社運営にアドバイスを行っています。SCP は約半年に及ぶ長いプログラムです。日々の業務スケジュールと照らし合わせ、ボランティア参加者自身が学校の先生・子どもたちと日程調整を行い、学校訪問を行い、また Skype やメールなどを活用しサポートを行っています。

年1回開催される SCP のアジア大会へ出場する子どもたちに対しては、会社経営の観点からのアドバイスのみならず、英語での資料作成、プレゼンテーション手法についてもアドバイスを行っています。2016年2月、韓国にて開催された Asia Pacific Junior Achievement Company Of The Year Competition では、私たちがサポートしたチームが「ヤングアントプレナーズチョイスアワード」を受賞し、国際舞台での荣誉ある賞の受賞に、子どもたちはもちろん、私たちもジュニア・アチーブメント日本の方々とともに喜びました。



MESE や SCP といった経済教育プログラムの素材が「会社経営」であることから、デロイト トーマツ グループというプロフェッショナルファームとして、日ごろの会計や税務・経営コンサルティングといった業務に携わる職員にはとても参加しやすいボランティアで、日々の業務で培った知識や経験を生かし、子

もたちへ実務に基づいたアドバイスを行うなど専門性を生かした支援に繋がっています。実際にボランティアに参加した者の口コミで年々社内での認知度も高まっており、ボランティア募集を社内で行う際も、複数の希望者が殺到するほどです。ボランティアに参加した職員からは、子どもたちに向けて自身の業務や経験を語る機会を持つことにより、新たな視点で自身の仕事を見つめなおすことができ、仕事のやりがいにもなったという声が聞かれています。デロイト トーマツ グループの持つ専門性やリーダーシップを生かす意義ある活動として、ジュニア・アチーブメント日本と協業し、これからもCSR活動の一環としてこの教育支援の継続に努めていきます。

第2回企業ボランティア・アワード受賞
(2017年3月1日)